

当院で分娩された患者さんの情報の 研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター産科では、「産後2週間における COVID-19 流行前後の産後うつの比較」を行うことになりました。

この研究の目的は、分娩された患者さんのエジンバラ産後うつ病質問票結果を調べて、COVID-19 がどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、①2019年5月1日より2020年1月31日まで、②2021年4月1日より2022年1月31日まで、③2023年5月8日より2023年10月31日までに分娩した方の情報の調査を行います。対象となるのは2週間健診で【エジンバラ産後うつ病質問票】調査を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（年齢、妊娠・分娩回数、産前・産後のサポートの有無、【エジンバラ産後うつ病質問票】の点数など）です。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2024年4月 研究責任者

東京医療センター産婦人科

井上 友梨香

連絡先 03-3411-0111(代表)